学校番号	3036

令和５年度　理科

教科	理数	科目	理数生物（文系）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「生物基礎」（数研出版）						
副教材等	セミナー生物基礎（第一学習社）・ビーライン生物基礎（数研出版） スクエア最新図説生物　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・共通テストに向けた演習を行う。授業の回数が少ないので、復習した単元の問題演習は各自で進めていくこと。
・問題集と共通テスト過去問を何度も解き、正確かつ細かい知識を定着させていくこと。

２　学習の到達目標

生物や生物現象について、
・教科書の内容・図を自分で説明できるまで理解する。
・授業プリントの演習問題、問題集の基本問題・応用問題が自力で解けるようになる。
・学習したことが、私たちの生活の何に活かされているのか理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 小テスト 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="3">生物基礎の復習</td><td>生物と遺伝子</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:これまでに学習したさまざまな生命現象について、興味関心を持って取り組んでいる。
b:生命現象のしくみについて日常生活と関連付けて考察し、説明することができる。
c:生物基礎で学習する基本的な実験について、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d:生命現象について理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="6">学習状況
実験
小テスト
課題提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>生物の体内環境</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>生物の多様性と生態系</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期</td><td rowspan="3">生物基礎の問題演習</td><td>生物と遺伝子</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:これまでに学習したさまざまな生命現象について、興味関心を持って取り組んでいる。
b:生命現象のしくみについて日常生活と関連付けて考察し、説明することができる。
c:生物基礎で学習する基本的な実験について、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。
d:生命現象について理解し、知識を身につけている。</td></tr>
<tr><td>生物の体内環境</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>生物の多様性と生態系</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。